

和の光

宝塚市立西谷中学校



「お坊さんの説教」

拠点校指導員 教諭 裏地 広之

こんにちは、今年度、毎週金曜日に拠点校指導員（初任者指導員）として西谷中学校に来ている裏地といいます。数年前には西谷中学校と西谷小学校にいましたので、名前が珍しいので覚えている方もいらっしゃるかもしれません。今は、英語科の図師先生と毎週金曜日に一緒に授業に参加させていただいています。

さて、数年前のお話です。コロナより前でした。あるお葬式（通夜）に参列しました。今は、あまりないようですが、読経が終わったあと、お坊さんが参列している方へお説教（お話）をされることがありました。そのときの説教はとても短かったのですが、とても印象に残りました。

「今日、私たちが、無駄に過ごした1日は、昨日、亡くなった故人が強烈に生きたかった1日である」という言葉でした。自分も明日、死ぬとは思って過ごしていませんが、「1日1日を大切に過ごしていかないとだめだなあ」と年を重ねるごとにあの時のお坊さんの説教が思い出されます。



■プール掃除をしました



全校生で掃除をします



念入りに壁面を磨きます



高圧洗浄機も使います



ちょっと一休み！！

暑い日が続く中、全校生徒でプール掃除を行いました。一人一人、スポンジを使ってプールの壁面や床にこびりついたコケやヌメリをこすり落とします。足は水に浸かっているにもかかわらず、すぐに身体中が汗だくになります。全校生で力を合わせて約2時間の掃除に取り組みました。その成果もあり、とても綺麗になりました。これで水泳の授業に向けての準備は完了です。暑さに負けずに頑張ったみなさんに感謝します。（6月11日）

■手話講座を開催しました

宝塚ろうあ協会から講師に加藤先生をお招きして、手話講座を開催しました。1年生は初めて手話を学ぶ人も多かったようですが、2・3年生は昨年に続けての講座ということもあり、比較的スムーズに取り組むことができました。



みんな真剣に説明を聞きます



お手本を見ながら手話にチャレンジ



だいぶ慣れてきました



笑顔一杯に優しく教えていただきました



手話でお礼のあいさつをしました

今回の講座で学んだ手話の知識をもとに、さらに手話についての学びを深めることができれば嬉しく思います。(6月17日)

■「西谷中学校在校生と卒業生の座談会」を開催します

本校の卒業生である坂田農さんと小林真奈美さんから「西谷中の卒業生として、自分たちの経験を後輩の進路選択にいかしてもらえるような取り組みをしたい」と相談がありました。その後、二人から西谷中学校 在校生・卒業生交流会の企画書と案内チラシ（右記に記載）をいただきました。ぜひ、たくさんの在校生・卒業生が参加して会を盛り上げてくれることを期待しています。

校長 筒井啓介

【以下、企画書より抜粋】

本企画では、西谷中学校の卒業生をゲストとして招き、在校生と中学校での生活や進路に関する意見交換を行います。卒業生には、自身の中学時代の経験、進路選択に至る過程、現在の学業・仕事について語ってもらい、在校生が自分の将来を具体的に考えるきっかけを提供することを目的とします。当日の進行形式は、卒業生との距離感や対話のしやすさを重視し、生徒が主体的に関われるスタイルを採用することで、新たな気づきを得られることを目指します。

①生徒の将来を考えるきっかけを提供する。

卒業生の体験談を通じて、進路選択や職業観の形成につなげます。

②学校生活（勉強・部活など）へのモチベーションを高める。

「今やっていることが未来につながる」という実感を得る機会とします。

③在校生と卒業生との“縦のつながり”を育む。

一過性のイベントではなく、継続的な交流を視野に入れた関係づくりを促進します。

省略